

12 / 7 (木) の発表

報道発表資料の配付日時 12月 7日 (木) 15時 00分

発表項目 (行事名)	咽頭結膜熱警報の発令について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要			
参考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	(場所)	

担当 (連絡先)	北海道胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室健康推進課 (担当者：明瀬) TEL ダイヤルイン 0144-77-9941		
-------------	---	--	--

咽頭結膜熱警報の発令について

令和5年12月7日（木）15時00分

北海道苫小牧保健所
電話：0144-77-9941

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和5年第48週（令和5年11月27日～令和5年12月3日）において、管内の定点医療機関あたりの患者報告数が、警報基準以上となりましたので、咽頭結膜熱警報を発令します。

記

1 定点医療機関あたりの患者報告数（第48週速報値）

区分	苫小牧保健所	全道	全国
1 定点医療機関あたりの患者数	3.40人	-人	-人
定点医療機関の受診患者総数	17人	-人	-人

2 「咽頭結膜熱」とは

アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状を来す、小児に多い病気です。

プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、「プール熱」とも呼ばれることもあります。

季節によらず年間を通じて発生しますが、6月頃から徐々に増え始め、7～8月にピークになります。

3 「咽頭結膜熱」の感染予防

流行時には、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。

感染者との密接な接触は避けましょう。

衛生を保つため、プールからあがった時は、シャワーを浴び、うがいをしましょう。

4 参考

(1) 最近5週間における定点医療機関あたりの患者報告数 ※（ ）内の表示は、「患者/定点」単位：人

	第44週 (10/30～11/5)	第45週 (11/6～11/12)	第46週 (11/13～11/19)	第47週 (11/20～11/26)	第48週 (11/27～12/3)
苫小牧保健所	4 (0.80)	10 (2.00)	10 (2.00)	8 (1.60)	17 (3.40)※
全道	563 (4.02)	802 (5.73)	963 (6.88)	1,118 (7.99)	- (-)
全国	7,709 (2.47)	10,199 (3.24)	10,376 (3.30)	11,139 (3.54)	- (-)

※第48週の患者報告数は速報値。

※全道の咽頭結膜熱流行情報は、北海道感染症情報センターのホームページで御覧になれます。

(URL: <https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/601/data.html>)

(2) 咽頭結膜熱の警報とは

【発令基準】警報：1 定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で3人以上となった場合

※ 警報発令後は1 定点医療機関あたりの受診患者数が1人以上であれば警報を継続

厚生労働省の感染症発生動向調査により、管内の定点医療機関を受診した咽頭結膜熱患者数が、警報の発令基準値に達した場合に発令します。

警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。